

ニュース Q&A 「混迷するイラン情勢」

I アメリカによるイラン攻撃の背景

アメリカとイランの関係について、当てはまる語句を以下の語群から選び、記号を記入しよう。

1979 年の (① **C**) によってイランには反米的な政権が樹立された。2002 年にイランによる (② **B**) が表面化して以降、核開発を制限する (③ **D**) が結ばれた。しかし第 1 次 (④ **A**) は (③) から一方的に離脱し、第 2 次 (④) はイランへの大規模な攻撃に踏み切った。

<語群>

A：トランプ政権 **B**：核開発疑惑 **C**：イラン＝イスラーム革命 **D**：核合意

II 国際法をめぐる主張の対立

イランへの攻撃に関する国際法の解釈について、アメリカとイスラエルの主張と、国際社会による批判をそれぞれまとめてみよう。

アメリカとイスラエルの主張	国際社会の批判
(例)イランによる核開発は差し迫った脅威であり、国際連合憲章 51 条に基づく自衛権の行使だ。	(例)国際連合憲章 51 条が定める「武力攻撃が発生した場合」という要件に該当せず、2 条 4 項が禁ずる武力の行使に該当する。

III ホルムズ海峡封鎖の影響

ホルムズ海峡の迂回ルートについて、当てはまる語句を以下の語群から選び、記号を記入しよう。

所要日数	おもな経由地
約 20 日	(⑤ E) ～日本
約 22 日	(⑥ F) ～紅海～ (⑦ H) ～日本
約 50 日	(⑥) ～ (⑧ G) ～地中海～アフリカ沿岸～日本

<語群>

E：アラブ首長国連邦 **F**：サウジアラビア **G**：スエズ運河 **H**：マンダブ海峡

IV イラン情勢と私たち

イラン情勢が国際社会、そして日本と私たちの生活への影響をまとめてよう。

国際社会への影響	日本と私たちの生活への影響
(例)イランへの攻撃に関する国際法の根拠への評価が分かれており、国際法に基づく秩序が揺らぐおそれがある。	(例)ホルムズ海峡が封鎖されることで原油の輸送が滞って価格が上昇し、物価高騰につながる。そのため、石油由来の原料を節約した商品が発売されるなど、消費生活に変化が起きる。